CP412803-01

FMPR5610／5610G クイックガイド

2008 年 5 月初版発行
富士通株式会社

本クイックガイドには、ご使用上の注意事項と印字位置がずれたり動作がおかしい場合などの対処方法が記載されています。
ご使用の前に必ずお読みいただき、正しく使用されますよう、お願い申しあげます。また、うまく動かない場合にもお読みいただき、問題解決のお役にたてれば幸いです。

目次

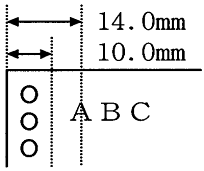
FUJITSU

１．１　印字ドット抜けを防止するために

印字ヘッドは左右に高速で移動しながら印字を行います。
そのため、用紙の端面やとじ穴、ラベル紙の段差、ミシン目の上などに印字を行うと、印字ヘッドピンが折損し印字ドット抜けの原因となることがあります。
印字ヘッドピン折損を招かないよう、以下の点に十分注意してご使用ください。

◆「用紙外印字防止」機能は「有効」のままでご使用ください。

用紙外印字防止機能は用紙幅を自動検出し、用紙端部および用紙幅を超える部分の印字を抑止する機能です。
製品出荷時は「有効」に設定されており、用紙端部からのカット量（トラクタ印字カット量）はミシン目のある用紙（図－１参照）を考慮して 14mm に設定されています。すなわち、用紙両端から 14mm 以内の領域には印字できません。
左右の文字が欠ける場合は、トラクタ印字カット量を 14mm から 10mm に変更してご使用ください。（付録 15 ﾍﾟｰｼﾞ参照）

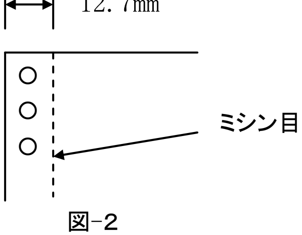


トラクタ印字カット量（左端余白）が 14.0mm のままではＡの左半分が印字されない。
→10.0mm に変更すれば印字される。

図−1

ただし、以下の例（図－２参照）のように、ミシン目が用紙端から 10mm を超える位置にある用紙（例では、12.7mm）の場合、トラクタ印字カット量を 10mm に変更すると、ミシン目位置の印字抑止ができず、印字ヘッドピン折損を招くことがあります。
このような場合は、用紙およびアプリケーションの見直しが必要です。

例）



図−2

用紙外印字防止機能を「有効」に戻す方法は、付録 15 ﾍﾟｰｼﾞを参照してください。

ご注意

連続帳票用紙をカットする際、ミシン目で正しくカットされず左右端が破れた状態のまま印刷を行うと、用紙幅検出を用紙の上端付近で行っているため用紙幅を正しく検出できず左右の文字が欠けてしまいます。
破れたページは切り取ってから、印刷を行ってください。

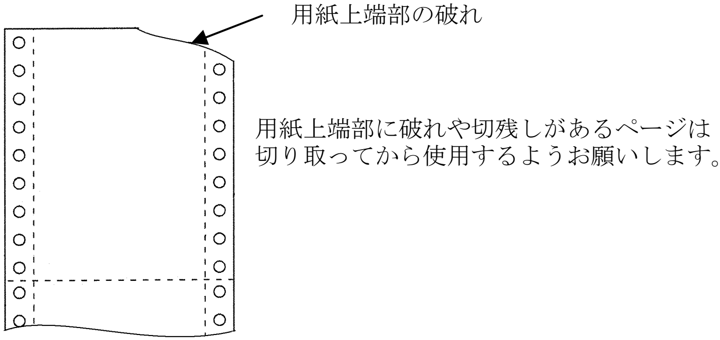


図-3

◆設定と異なる用紙に印刷しないでください。

特にLAN環境で使用する場合、プリンタの選択ミスで、セットしている用紙と合わない印刷データが流れ、とじ穴や媒体段差での引っ掛かりなどによりピン折損の危険が高まります。プリンタの選択ミスがないよう、十分注意してください。

◆印字が薄くなったら、リボンカセットを適時交換してください。

リボン生地の印字跡部分の黒さが薄くなった状態で印字を続けると、
リボンが破れて印字ヘッドピンが引っ掛かり、ピン折れにつながります。
リボンカセットは適時交換してください。

１．２　ラベル用紙の印刷について

ラベル用紙に印刷する際に、紙厚調整を自動のまま印刷すると紙厚自動調整が適切でない場合があります。ラベルが剥がれてプリンタ内部に貼りつき用紙搬送不良となったり、印字汚れやリボン外れなどが発生します。
ラベル用紙への印刷は、以下の点に注意してください。

◆カストリラベル用紙は紙厚調整を『レンジ３』に設定してください。

ラベル周囲のカストリを行った用紙（ラベル以外の部分は台紙だけの用紙）は、自動紙厚調整の誤動作の原因となり、一般には本来の厚さよりも薄く設定され、ラベルが剥がれやすくなったり印字汚れ等を招きます。
このようなカストリしたラベル用紙を使用する場合は、プリンタドライバで紙厚調整を『レンジ３』を目安に設定してください。
設定は「給紙方法/用紙サイズを正しく設定する」(9ﾍﾟｰｼﾞ)の手順に従い、図-１１でメディア右横の「 」ボタンを押して一覧を表示させ「レンジ３」を選択してください。
「レンジ３」を選択したプリンタドライバをラベル用紙専用とし、その他の用紙用に紙厚調整が「自動」のプリンタドライバを作成すればプリンタドライバの使い分けで、ラベル用紙とその他の用紙を使用できます。

プリンタ側でも紙厚調整を『レンジ３』に設定可能です。(付録 15ﾍﾟｰｼﾞ参照)
ただし、ラベル用紙とその他の用紙との印刷が混在すると、用紙変更の都度プリンタの設定も変更する必要があり、お薦めはできません。

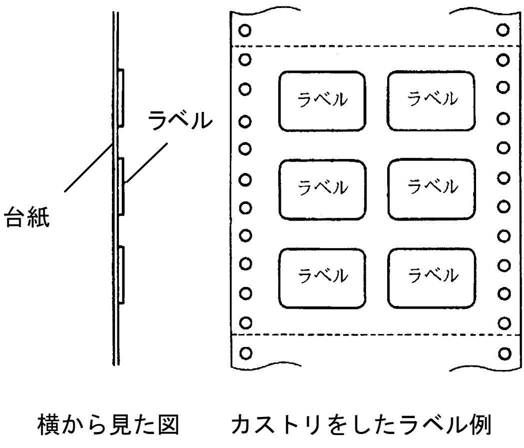


図-4

ご注意

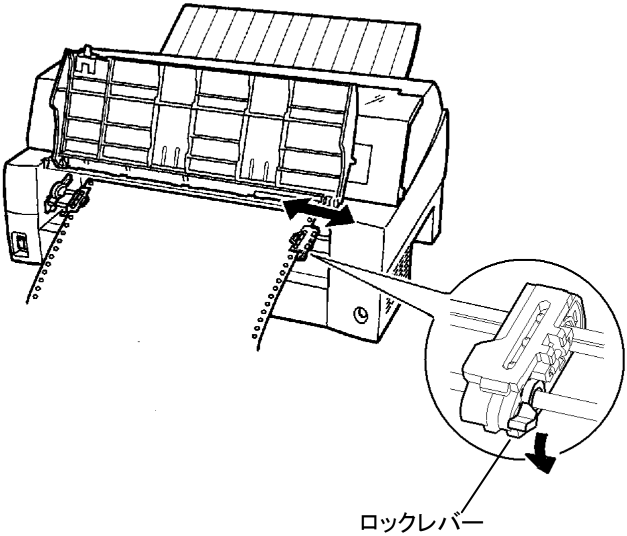
ラベル用紙をプリンタに長時間セットしておくと、プリンタの用紙入り口や机の角でのラベル用紙の変形を招き、剥がれやすくなったりしますので、長時間セットした状態にしないようお願いします。

１．３　トラクタから用紙が外れないようにするために

左側のトラクタ位置が決まったら、右側のトラクタを用紙サイズに応じて左右に移動させます。その際、用紙を張り過ぎると用紙の送り穴を痛め、用紙送り精度が悪化したり、トラクタから用紙が外れる原因となりますので、ご注意願います。

◆用紙を張り過ぎないように注意してください。

張り過ぎを防止するため、用紙を両トラクタにセットした後、まず左側のトラクタを固定します。次に、右側のトラクタで用紙をピンと張った状態から一度手を放します。その状態で右側トラクタのロックレバーを押し下げてトラクタを固定してください。



図−5

ご注意

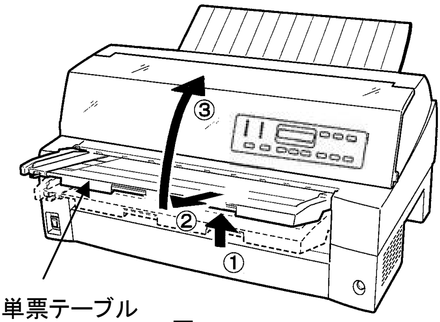
箱に入れて湿度の高い場所に保管していた用紙は、最初のページだけ湿度の影響でわずかに延びていることがあり、最初は適切なトラクタ位置であっても、印刷途中から張り過ぎとなる場合があります。
用紙の送り穴が変形したら、用紙の張りを適時修正してください。

1．4　連続帳票用紙をセットするときの注意

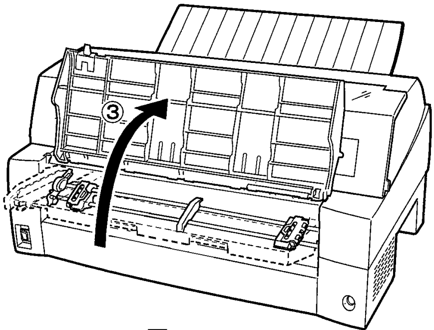
連続帳票用紙を前トラクタフィーダにセットするとき、単票テーブルは以下の要領で正しく操作し最後に奥まで押し込んで閉じてください。
奥まで押し込まずにしておくと破損の原因となります。
前トラクタに用紙をセットする場合、以下の手順で操作をお願いします。

◆単票テーブルを開いて（立てて）ください。

単票テーブルの先端を少し持ち上げ（①）、手前に引いた後（②）、回転させて開きます（③）



図－６

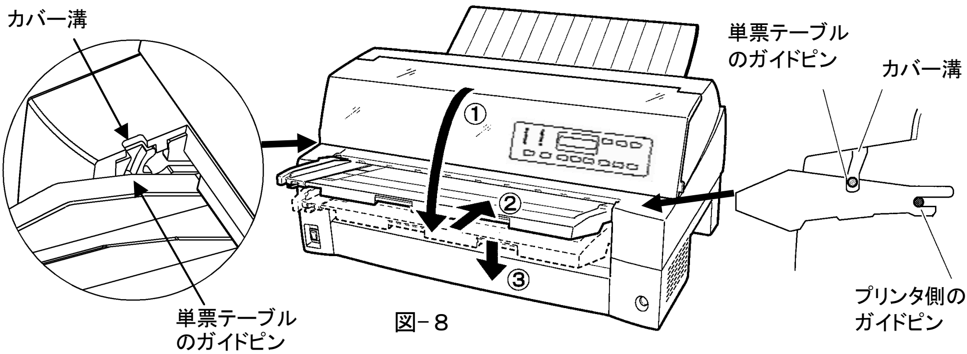


図－７

◆前トラクタに連続帳帳票用紙をセットしてください。

◆単票テーブルを閉じて（水平にして）ください。

図－８のように回転させたのち（①）、奥に押し込んで（②）、閉じます（③）。
単票テーブルのガイドピンがカバーの溝に入っていれば、完了です。



図－８

ご注意

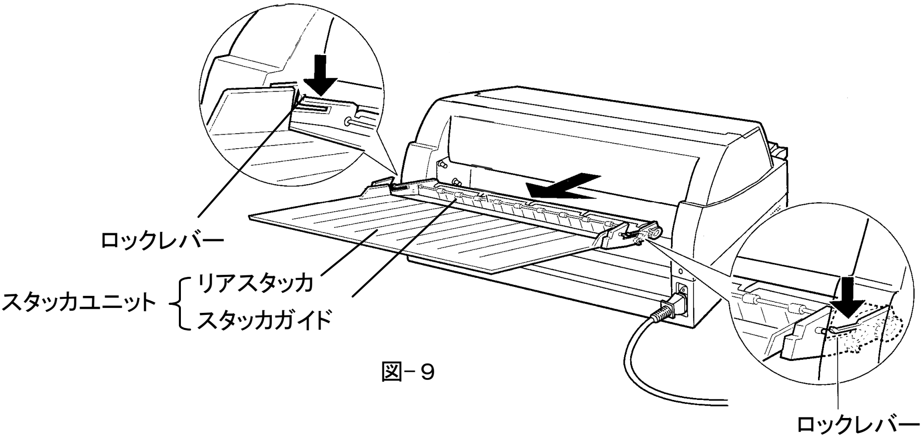
単票テーブルの操作の途中で、無理な力をかけないでください。
単票テーブルを開いたままや、引き出した状態で放置すると、うっかり無理な力が加わり破損を招く危険が高まりますので、必ず閉じた状態にしてください。

１．５　スタッカユニット部に用紙がつまったとき

スタッカユニット部での用紙づまりを除去する場合、スタッカユニット(リアスタッカとスタッカガイド）は以下の方法で操作してください。

◆スタッカユニットを取り外してください。

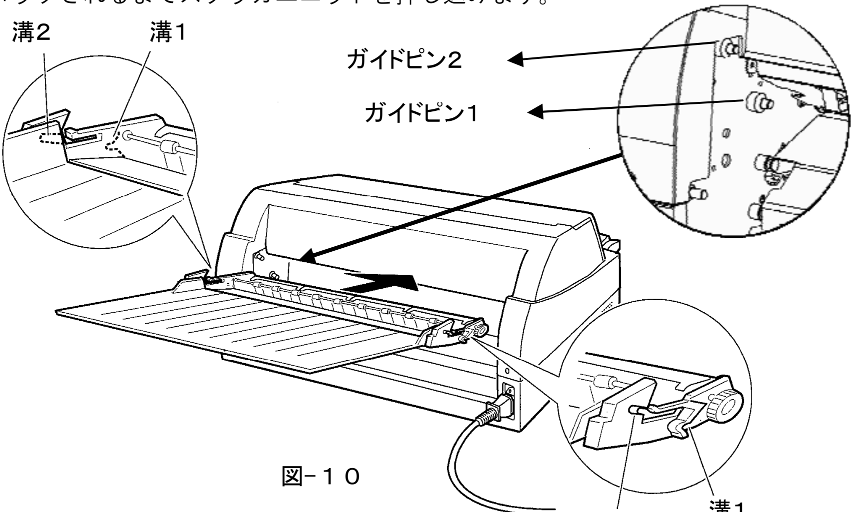
スタッカガイドの左右のロックレバー（PUSHﾗﾍﾞﾙ位置）を押し下げながら、スタッカユニットを引き抜きます。



図－９

◆スタッカユニットを取り付けてください。

スタッカガイドの左右の溝１をガイドピン１に合わせ、ガイドピン２が溝２にロックされるまでスタッカユニットを押し込みます。



図－１０

ご注意

必ずロックレバーを解除してからスタッカユニットを外してください。
無理に外そうとすると、スタッカガイドが破損する場合があります。

2．1　プリンタがうまく動かないとき

印字中に以下の現象が発生した場合は、セットしている用紙とプリンタドライバの設定が合っていない可能性があります。
保守員をコールされる前に、処置内容に従ってプリンタドライバが正しく設定されているかお確かめください。

表-１　現象と処置内容

現　象	処置内容
印刷指示で給紙口が切り替わってしまう	「給紙方法/用紙サイズを正しく設定する」(9 ページ)でプリンタドライバの設定を確認してください。
印刷指示で用紙なしになってしまう	
印刷する度、プリンタ側で給紙口を切り替えないと印刷できない	
印刷指示で用紙なしになり、オンラインＳＷを押すとカットシートフィーダまたは手差しから印刷する	
用紙の右側が印刷されない	
印字が左右に約 5mm ずれる	
連続帳票の用紙カット後の印刷開始位置がずれる	「用紙名/用紙サイズを正しく登録する」(11 ページ)でプリンタドライバの設定を確認してください。
用紙カットを押しても連続帳票のミシン目がカット位置にこない	
連続帳票の印刷開始位置がずれる	
ページ長がおかしい	
連続帳票を複数ページ印刷していくうちに印字位置がずれる	

２．２　給紙方法/用紙サイズを正しく設定する

用紙サイズが既知で、そのサイズが既にプリンタドライバに登録されている場合は、以下の手順で選択設定してください。
プリンタドライバに未登録の場合や、用紙サイズがわからない場合は、先に「用紙サイズを正しく設定する」（１１ページ）を確認してください。

◆給紙方法と用紙名の設定

以下の手順でプリンタドライバの給紙方法と用紙サイズ（用紙名）を正しく設定してください。

※ここでは、以下の場合を例に説明します。
ＯＳ　　　：Windows XP
給紙方法　：前トラクタ
用紙サイズ：縦 10.5 インチ連続紙

（１）「スタート」⇒「プリンタとFAX」の順にクリックし、
プリンタフォルダを表示させる。

（２）該当プリンタ（アイコン）上で右クリックし、プロパティを押す。

（３）「印刷設定」を開き、「用紙/品質」をクリックすると、図-１１の画面になります。
給紙方法右横の「」ボタンを押して一覧を表示させ、
「前トラクタフィーダ」を選択する。

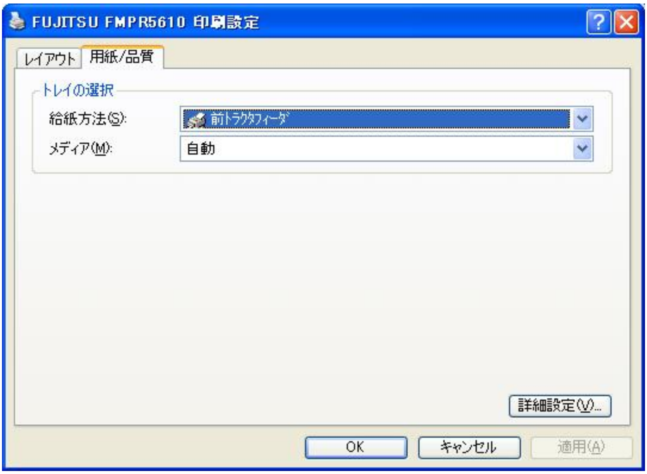


図-１１

（４）「詳細設定」を開くと図－１２の画面になります。
用紙サイズ右横の「 」ボタンを押して一覧を表示させ、
「縦 10.5inch 連続紙」を選択しＯＫを押す。



図－１２

ご注意

プリンタドライバのバージョンにより、「縦 10.5 インチ(266.7mm) 連続紙」と表示されます。

（５）プロパティ画面に戻り、「デバイスの設定」を押す。

（６）「給紙方法と用紙の割り当て」において、３項の給紙方法
「前トラクタフィーダ」を選択し、４項で選択設定した用紙名
「縦 10.5inch 連続紙」を選択する。



図－１３

２．３　用紙名/用紙サイズを正しく登録する

実際の用紙サイズを測定し、プリンタドライバに登録してください。

（１）用紙長さ（高さ）の確認

※連続紙用紙サイズは、特例を除き、ｃｍまたはインチ(１ｲﾝﾁ＝2.54㎝)で設定します。

①１ページの長さが折畳みの長さと同じ場合、折畳み長さに入る用紙の送り穴数を確認し、送り穴の数を２で割った値が、用紙長さ(高さ)です。

用紙長さ(高さ)＝折畳み長さ（インチ）＝用紙送り穴数÷２

※図-１４の場合、１１穴÷２＝５．５インチ（折畳み長さ）となります。

メートル法では､5．5×2．54＝13．97cmです｡

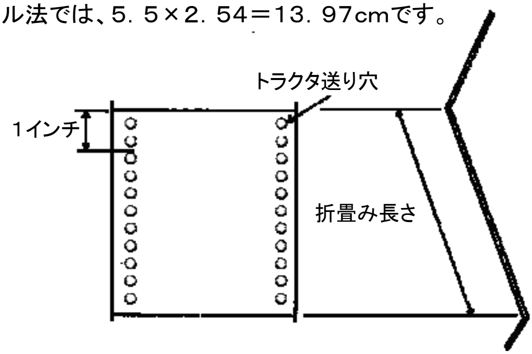


図-１４

②折畳みの長さの中に複数ページある場合、折畳み長さを、その中に含まれるページ数で割り、用紙長さ(高さ)を求めます。

通常１ページ毎に横ミシン目が入れてあります。折畳みの長さの中にあるミシン目で分割されたページ数を確認します。

※図-１５の場合、ページ数は３、用紙長は３＋２／３インチとなります。

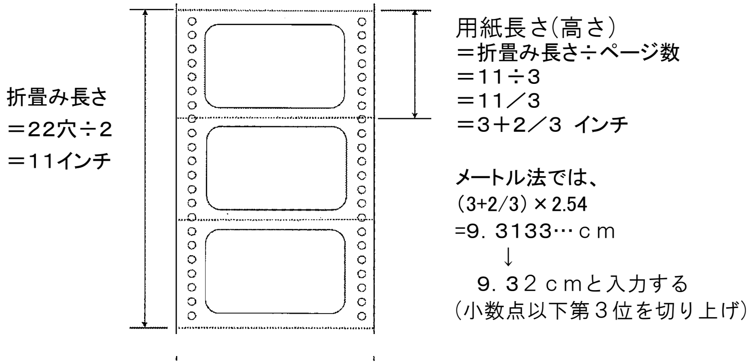


図-１５

（２）用紙幅の確認

用紙の幅を測定します。ヤードポンド法で設定する場合は、インチに換算します。

用紙幅（インチ）＝用紙幅測定値（cm）÷2.54

※図-１６の場合、用紙幅は２０ｃｍで、２０÷2.5４＝7.8７インチとなります。

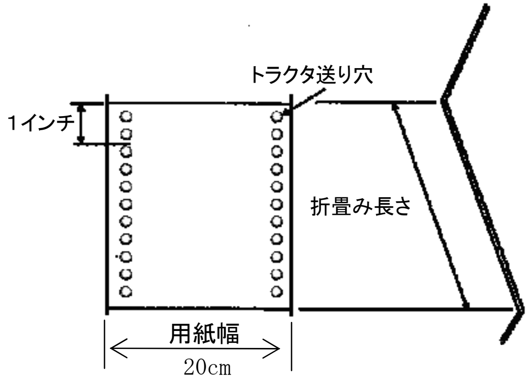


図-１６

（３）プリンタドライバの用紙サイズの確認、追加登録

手順１）実測した用紙サイズが、あらかじめプリンタドライバに登録済みの用紙の中に、含まれていないか確認します。初期値としては、表-2の基本サイズ欄に示す２２種類の用紙が登録済みです。

→「給紙方法/用紙サイズを正しく設定する」（９ページ～）の手順の図-１２で「用紙サイズ」をプルダウンして、実測した用紙のサイズの有無を確認します。無かった場合や新しい用紙名で追加登録したい場合は、手順２を行ってください。

手順２)用紙長がプリンタドライバに未登録の場合は、１４ページを参照して、新しい用紙（任意の用紙サイズ）を作り、幅と長さ(高さ)をｃｍ単位またはインチ単位で設定登録します。

ただし、表-２の中でヤードポンド法の欄が－になっている用紙長の場合は、必ずｃｍ単位で登録します。

登録済みの用紙サイズであっても、運用時にわかりやすくするために、同サイズで別名（例えば伝票名）の用紙として追加登録することも可能です。

ご注意

用紙長(高さ)の設定に誤差があったり、メートル法／ヤードポンド法の選択が間違っていると、複数ページ印刷する間に誤差が累積し印字位置が上下方向に徐々にずれていくので注意が必要です。

備考）データの作成が正確である場合、実際の印字領域より狭くならない
用紙幅を設定すればＯＫです。用紙長(高さ)のみで表現される用紙を
選択してもかまいません。
その場合、実際の用紙サイズ(幅)を超えた文書の印刷指示があると、
はみだした領域の印字は行われません（用紙外印字防止機能が有効
のとき）。

表-2　測定した用紙長とプリンタドライバの基本サイズ、新しい用紙サイズの対応表

測定した用紙長	ﾌﾟﾘﾝﾀﾄﾞﾗｲﾊﾞの基本ｻｲｽﾞ＊	新しい用紙ｻｲｽﾞ（単位ﾒｰﾄﾙ法）	新しい用紙ｻｲｽﾞ（単位ﾔｰﾄﾞﾎﾟﾝﾄﾞ法）
1 インチ	縦 1inch 連続紙	2.54 cm	1.00 in
2 インチ	縦 2inch 連続紙	5.08 cm	2.00 in
2+1/6 インチ	―	5.51 cm	2.17 in
2+1/3 インチ	**―**	**5.93 cm**	**―**
2.5 インチ	―	6.35 cm	2.50 in
2+2/3 インチ	―	6.78 cm	2.67 in
3 インチ	縦 3inch 連続紙	7.62 cm	3.00 in
3+1/6 インチ	―	8.05 cm	3.17 in
3+1/3 インチ	**縦 3 1/3inch 連続紙**	**8.47 cm**	**―**
3.5 インチ	―	8.89 cm	3.50 in
3+2/3 インチ	縦 3 2/3inch 連続紙	9.32 cm	3.67 in
4 インチ	縦 4inch 連続紙	10.16 cm	4.00 in
4+1/6 インチ	―	10.59 cm	4.17 in
4+1/3 インチ	**縦 4 1/3inch 連続紙**	**11.01 cm**	**―**
4.5 インチ	縦 4.5inch 連続紙	11.43 cm	4.50 in
4+2/3 インチ	縦 4 2/3inch 連続紙	11.86 cm	4.67 in
5 インチ	縦 5inch 連続紙	12.70 cm	5.00 in
5+1/6 インチ	―	13.13 cm	5.17 in
5+1/3 インチ	**縦 5 1/3inch 連続紙**	**13.55 cm**	**―**
5.5 インチ	―	13.97 cm	5.50 in
5+2/3 インチ	縦 5 2/3inch 連続紙	14.40 cm	5.67 in
6 インチ	縦 6inch 連続紙	15.24 cm	6.00 in
7 インチ	縦 7inch 連続紙	17.78 cm	7.00 in
8 インチ	縦 8inch 連続紙	20.32 cm	8.00 in
9 インチ	縦 9inch 連続紙	22.86 cm	9.00 in
10 インチ	縦 10inch 連続紙	25.40 cm	10.00 in
10.5 インチ	縦 10.5inch 連続紙	26.67 cm	10.50 in
11 インチ	縦 11inch 連続紙	27.94 cm	11.00 in
12 インチ	縦 12inch 連続紙	30.48 cm	12.00 in
13 インチ	縦 13inch 連続紙	33.02 cm	13.00 in
14 インチ	縦 14inch 連続紙	35.56 cm	14.00 in

＊プリンタドライバのバージョンにより、以下のように ｍｍ表記が追加されます。
例）縦 1inch 連続紙　⇒　縦 1ｲﾝﾁ(25.4mm)連続紙

◆新しい用紙（任意の用紙サイズ）の登録方法

以下の手順で新しい用紙を作成して登録してください（Windows XP での例）。

（1）「スタート」⇒「プリンタと FAX」の順にクリックし、プリンタフォルダを表示させる。

（2）メニューの「ファイル」から「サーバーのプロパティ」をクリックする。

（3）「新しい用紙を作成する(C)」をチェックすると、「用紙名(N)」のグレーアウトが解除されるので、任意の用紙名（例：20cm×9.32cm）を入力します。

（4）用紙の説明（単位）で、メートル法に ● チェックを入れ、１１～１２ページで確認した用紙サイズ（ｃｍ）を「幅」および「高さ（用紙長）」に入力します。



図−１７

高さは、計算値では 9.3133…cm ですが、表−2に示すように小数点以下第3位を切り上げた 9.32cmを入力します。

※Windows 内でのドットライン数の計算時に1ドットライン未満は切捨てられるため、用紙サイズとしては切り上げた値を入力します。

「余白」を設定しても、正しく反映されない場合があります。このときは、アプリケーションで余白を設定してください。

（5）「用紙保存(S)」をクリックして新しい用紙を登録し、プロパティを閉じます。

（6）図−１７で設定登録した新しい用紙を、「給紙方法/用紙サイズを正しく設定する」（９ページ～）の手順で選択してください。



図−１８

〔 付録 〕

３．１ 用紙外印字防止機能が有効であることを確認する方法

1) オペレータパネルに「オンライン」と表示。→「オンライン」を押す。
2) 「オフライン」と表示される。→「設定/メニュー」を押す。
3) 「メニューインサツ」と表示される。
4) 「▷」を数回押して、「ソノタノセッテイ」を表示させる。
5) 「▽」を押して、「F パス　キャリアイチ」を表示させる。
6) 「▷」を数回押して、「ヨウシガイ　インジボウシ」表示で、「▽」を押す。
7) 「＊ユウコウ」と表示される（＊表示有りが、現在の設定内容です）。

●確認後、「オンライン」を２回押すと、「オンライン」表示に戻ります。

※7) で「＊ムコウ」と表示された場合は以下の手順で「＊ユウコウ」にする。

a) 「＊ムコウ」と表示される。→「▷」を押す。
b) 「　ユウコウ」と表示される。→「セッテイ／メニュー」を押す。
c) 「＊ユウコウ」と表示される。→「オンライン」を押す。
d) 「△：セッテイトウロク」（上側）と表示される。

●「△」を押すと、設定を登録し、「オンライン」表示に戻ります。

３．２ トラクタインジカット量を 10㎜ に設定する方法

1) オペレータパネルに「オンライン」と表示。→「オンライン」を押す。
2) 「オフライン」と表示される。→「設定/メニュー」を押す。
3) 「メニューインサツ」と表示される。→「▷」を６回押す。
4) 「▷」を数回押して、「ソノタノセッテイ」を表示させる。
5) 「▽」を押して、「F パス　キャリアイチ」を表示させる。
6) 「▷」を数回押して、「トラクタインジカットリョウ」表示で、「▽」を押す。
7) 「＊１４．０ｍｍ」と表示される。→「▷」を押す。
8) 「　１０．０ｍｍ」と表示される。→「セッテイ／メニュー」を押す。
9) 「＊１０．０ｍｍ」と表示される。→「オンライン」を押す。
10) 「△：セッテイトウロク」（上側）と表示される。

●「△」を押すと、設定を登録し、「オンライン」表示に戻ります。

３．３ 紙厚調整を「レンジ３」に設定する方法

1) オペレータパネルに「オンライン」と表示。→「オンライン」を押す。
2) 「オフライン」と表示される。→「設定/メニュー」を押す。
3) 「メニューインサツ」と表示される。
4) 「▷」を数回押して、「ソウチ　キノウセッテイ」を表示させる。
5) 「▽」を押して、「ホストインタフェース」を表示させる。
6) 「▷」を数回押して、「カミアツチョウセイ」表示で、「▽」を押す。
7) 「＊オート」と表示される。→「▷」を３回押す。
8) 「 レンジ３」と表示される。→「セッテイ／メニュー」を押す。
9) 「*レンジ３」と表示される。→「オンライン」を押す。
10) 「△：セッテイトウロク」（上側）と表示される。

●「△」を押すと、設定を登録し、「オンライン」表示に戻ります。

FUJITSU